

## 経営のヒント198 「家の鍵を落としたのだけど」

### 鍵はどこに？

Aさんはが夕方に街を歩いていた時のことです。  
Bさんが建物の前で何かを探しまわっていました。  
Aさんが、「何を探しているのですか？」と尋ねると、  
Bさんは大変困った様子で、「家の鍵を落としてしまったのです」と答えました。  
Aさんは、それは大変と、一緒に鍵を探しました。  
しかし、いくら探しても鍵は見当たりません。

Aさんはどうしたものかと考え、ヒントを求めてBさんに尋ねました。  
「鍵をいつ、どこで落としたのか、何か覚えていませんか？ 最後に見たのはどこだったでしょうか？」

Bさんは答えました。「鍵は家の中で落としました」  
その答えにAさんはびっくり。  
「家の中で落としたのなら、家の中を探した方がよいのではないですか？」  
すると、Bさんは答えました。  
「家の中は暗くて見えないのです。でも、家の外は、光が当たっているの、見えるだろうと思い、こうして探しているのです」

人は問題の原因が内(自分自身)にあっても、原因を外にあるものと考えたがるものです。  
景気が悪い、世の中が悪い、政府が悪いとか、あるいは社長が悪い、コンサルタントの戦略が悪い、といったように。  
しかし、本当の原因は、少なくとも部分的には、私たちの内にあることが多いのです。  
外が変わるのを待っていたのでは、変化を作り出すことは難しいといえるでしょう。  
変化を作り出す人は、ほかの人が変わるのを待つのではなく、自分自身がその問題をどのようにつながっているかを考え、自らの関わりを変えることによって変化を作り出します。

「システム思考教本」枝廣淳子・小田理一郎、東洋経済新報社より参照

### <経営のヒント>

**私たちは自分の答えを求めがちです。  
本当の問題を解く鍵は、自分の心や頭の内側にあることが多いのです。**